

ケリ（チドリ科） 全長36センチ

畑や田んぼ等で局地的に繁殖する習性があるが、かつては旧北神小学校周辺の田んぼが集団の繁殖地でした。しかし、その後の減反政策の見直しなどにより営巣する環境が大幅に変わり、現在では殆ど見えなくなりました。

ケリは、春の農作業が始まる前までに地上に営巣し、子育てしなければ間に合いません。町内をあちこち探したが、簡単には見つかりませんでした。

諦めかけていたが7月19日、北神小学校近くの農道で20数羽のケリが見つかった。この季節のヒナはもう飛べるまで生長し、親と一緒に行動するようになります。そして数個の家族が群れとなり、秋の渡りまで滞在します。



田んぼの畦道でくつろぐケリ。

成鳥は胸のあたりに黒い横縞があり、幼鳥はまだ茶色で見分けがつかず。一斉に飛び立つと、風切り羽の白い部分が目立ち、なかなか優美な眺めです。

繁殖地は分からず心配していたが、20数羽のケリを眺めただけで一安心となりました。



近くから一羽が飛び降り仲間に加わった。



足が長くて精悍な姿。



餌を探し始めた。



両翼の先端は黒く、他の種と見間違えることはありません。